

# 平成27年度 魚沼市社会科部 活動報告

部長 荻野 秀和

## 1 研究主題

「思考・判断・表現」の力を高める指導と評価  
～言語活動を取り入れた社会科学習指導のあり方～

## 2 研究の概要

### (1) 総会・第1回小学校社会科部会 (2) 第2回小学校社会科部会

①期日 平成27年4月16日

②会場 小出郷文化会館

③内容 研究主題の検討  
今年度の活動計画作成

①期日 平成27年8月7日

②会場 藪神発電所朝鮮人労働者慰霊碑等

③内容 地域巡見

### (3) 第3回小学校社会科部会

①期日 平成27年10月14日

②会場 魚沼市立小出小学校

③内容 公開授業, 協議会  
・第5学年社会科「工業生産を支える人々」  
・授業者 小出小学校 川崎 智也 教諭



## 3 研究の実際

### (1) 地域巡見

魚沼歴史・民俗の会事務局の八海昭夫様を講師にお招きし、小中合同の地域巡見を行った。最初に訪れた東北電力藪神発電所では、朝鮮人労働者の殉職慰霊碑をはじめ、朝鮮人労働者の歴史を学んだ。陣場カ原古戦場での小倉主膳上供養碑の巡見では、上杉農民一揆を学ぶとともに、近くに会津街道の道標もあり、古き魚沼の歴史を顧みることができた。また、穴地十二神社では石川雲蝶の迫力ある彫刻を見学し、魚沼と関係の深い雲蝶について学ぶことができた。その他にも、社会科の授業で素材となる史跡などを巡った。

### (2) 公開授業, 協議会

学習内容に対する「子どもたちの問題意識」を中心に構成された授業であった。自動車部品の製造を行っている会社「宮本警報器」についての調べ学習をきっかけに学習が展開された。宮本警報器がより品質の高い製品を作るために行っている不良品検査に子どもの関心を引きつけ、本物の教材（クラクションの部品）を用いて、工業生産向上への企業の工夫を理解させる授業であった。



## 4 成果と課題

今年度、中学校社会科部と連携し、巡見を合同で行った。また、授業研究に中学校の先生方にも参加していただき、専門的な知見からご意見をいただき研修を深めた。

公開授業では、社会科授業の命ともいえる「資料」が充実していたことが、本授業における子どもの内容理解や思考を深めることに繋がったと考える。「既習の過程が見える掲示物」「工場長の手紙」などの豊富な資料を、子どもたちに疑問が生じたタイミングで提示するという術を目にし、授業構成の重要な視座を得ることができた。

課題としてあげられたことは、授業の中で「完成品と不良品の違い」を見比べさせた場面についてである。教材で用いたクラクションの完成品と不良品を見分けることは難しく、子どもにとって適切な課題ではなかったのではないかとということである。この議論を通じて、「教材」の選定を「子ども目線」で考えることの重要性を参加者全員で共有することができた。

- 40字×45行で示したが、行数は変更してよい。A4 1枚で。
- 10.5ポイントMS明朝体を基本とする。
- 見出しは、MSゴシックで。
- 研究の実際には、写真等を用いて分かりやすく伝える。
- 述べやすいように項目を変更してもよい。